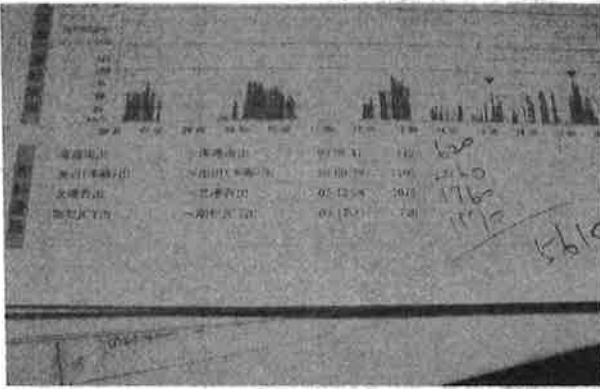


デジタコでの阪神高速料金表示記録紙 (A社提供)



デジタコ料金表示

ETC連動でアナログに

デジタルタコグラフは事務処理の軽減や車両運行管理に役立つことから近年、導入する運送会社が増え、業務終了後に手書きによる日報を納めることなく、ドライバーの作業負担軽減も図られ、導入が進められている。ちなみに、大阪府下の運送会社も近畿圏内から長距離輸送で大型車やトレーラによる鋼材、海コン輸送を展開し、保有する車両の全車にデジタコを導入しており、ETCと連動させて高速道路の利用料金も管理している。

大阪府堺市の運送 統一化した。

A社も今から数年前にデジタコを導入し、運行管理やETCと連動させ高速道路利用料金の管理も行っていった。こんな中で阪神高速道路に対して、阪神高速が、2017年6月に他の高速道路と車種区分が異なり、ネクスコなどでは5車種区分だったの、読取り、デジタコ区別であったものを表示されるなど、利

阪神高速 車種区分統一で誤差

用者は請求書とデジタコに表示される金額が最大で倍程度の誤差が生じた。一部の運送会社からは、経費管理や業務で混乱や手間が生じるとして、阪神高速道路に対してタレムや苦情が寄せられた。A社でも当時からデジタコにはトレーラで阪神高速道路を利用しても、中型車での利用料金が表示されておりました。車台ごとの阪神高速の請求書とデジタコの表示内容が異なることから、訂正・変更し経費の管理を行っている。

それから約一年半が経過した現在でもA社社長は「今から約一年半前に阪神高速道路を訪問し、ETCと連動したデジタコにはトレーラであって中型車の料金が表示され、事務管理で大きな負担となるため、早急に対応してほしいとお願ひした。しかし、いまだにその対策・対応はとられておらず、事務員が請求書とデジタコに表示された料金の違いを計算し直して処理している状況」と説明する。A社は阪神高速道路だけでなく、デジタコ販売のメーカーに対して表示記録の対応を求めたが、メーカー側は「ネクスコでは適正に連動して適正に車種区分された料金が表示される。阪神高速側のシステム上の問題であるため、デジタコで変更や対応はできない」と説明されている。阪神高速には再び1年以上が経過しているのに何ら対応がないため、先日も電話で問い合わせしたが、いまだ対応できていない現状を説明された」と話す。

このように話す運送会社も存在しており、もともとデジタコは安全運行での活用を主としていることから影響がない会社もあるが、A社のように安全運行から高速料金などの経費管理を行うところも多く、そういった運送会社にとっては二度手間となるため、早急な対応・変更を望まれているようだ。(佐藤弘行)

請求が行われているところ、適正料金での混乱することはない」といふ。